

適切な感染症診療に 適切な血液培養を

2020年度診療報酬改定より
血液培養検査は、さらに**増点**となりました

診療報酬の改定内容

細菌培養同定検査

| 区分 | 項目 | 保険点数 |
|---------|---------|-------------|
| D-018 3 | 血液又は穿刺液 | 215点 |
| D-018 注 | 嫌気性培養加算 | 112点 |

血液を2か所から採取した場合に限り、「3」の血液又は穿刺液を2回算定できる。
この場合、「注」の加算は2回算定できる。



血液培養検査は、感染症診療と抗菌薬適正使用支援における重要な検査です

血液培養検査に関わる保険点数は増点されています



2セット以上の複数セットの血液培養を実施することで、
血流感染の見逃しが減少すると報告されています¹⁻²⁾



発熱の有無にかかわらず、 下記の病態に該当するときは血液培養を考慮しましょう

血液培養の適応を考える臨床像

■ 以下の感染症を疑い、抗菌薬を開始する場合³⁾

- 扁桃・咽頭の周囲炎および腫瘍
- 肺炎
- 尿路感染症
- 細菌性髄膜炎
- 感染性心内膜炎
- 血管内カテーテル感染症
- 胆道感染症
- 腹膜炎
- 好中球減少時の発熱

■ 患者さんに敗血症の疑う症状を認めた場合²⁾

(感染症が疑われqSOFA 3項目のうち2項目以上を満たす場合)

- 呼吸回数 ≥ 22 回/分
- 意識変容
- 収縮期血圧 ≤ 100 mmHg

引用元

1) CLSI. Principles and Procedures for Blood Cultures; Approved Guideline. CLSI document M47-A. Wayne, PA: Clinical and Laboratory Standards Institute; 2007.

2) 西田修 他. 日本版敗血症診療ガイドライン2016. 2016.

3) 感染症診療の手引き編集委員会. 新訂第3版 感染症診療の手引き—正しい感染症診療と抗菌薬適正使用を目指して. 2017.

血液培養情報ウェブサイト 血培のチカラ

血液培養(以下「血培」と記載)の様々な情報を掲載し、それを利用することにより感染症診療の質を向上させることを目的として、ウェブサイト『血培のチカラ』を開設いたしました。感染症診療の中で血培は、原因微生物を特定し、適切な抗菌薬を知るための大きな助けとなりますし、患者さんの病態を解明する一助ともなります。そのために、血培をもっと理解し使いこなして頂きたいと考えています。今後も随時コンテンツを増やしていく予定ですので、ぜひご期待ください。

Featured content「動画ライブラリー」 会員限定コンテンツ

① Web座談会「血培を語る」



青木 眞先生 感染症コンサルタント

椎木 創一先生 沖縄県立中部病院 感染症内科

岡 秀昭先生 埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科・感染症科

② 血液培養ベストプラクティス

血液培養の目的や、どのような患者さんに実施するか？
どのように採取したほうが良いのか？ 分かりやすく解説しています。

③ 血液培養の正しい採取方法

血液培養の質を高めるための、正しい検体採取方法を
動画にてご紹介します。

「血培のチカラ」ウェブサイトはこちら

血培のチカラ

Search

www.bdj.co.jp/s/ketsubai/



日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
カスタマーサービス ☎ 0120-8555-90 FAX: 024-593-3281

bd.com/jp/

